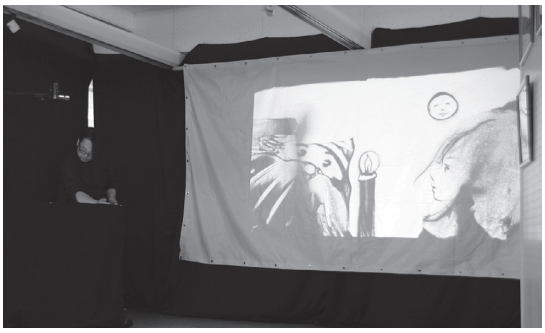
まちかどトピックス

砂絵パフォーマンスを披露

道内外で活動する室蘭在住の砂絵アーティストの森マサミチさんが、グリンデパートで開催した「アートパフォーマンスの日」で、砂絵を披露した。

2回目となる今回は、音楽に合わせて、クリスマスツリーやサンタクロース、少女などを次々と白板に描き来場者の目を楽しませた。「今後も毎月開催し、多くの人にサンドアート（砂絵）の魅力を伝えたい」と森さんは意気込んでいた。（12月2日）



凧づくりに挑戦

民俗資料館で「干支凧（えとだこ）づくり体験学習会」が開催され、親子連れなど15人が凧づくりに挑戦。参加者は、干支にちなんだ「亥（いのしし）」の絵と文字が描かれた和紙に、竹ひごを貼り付けて骨組みを作り、赤や茶などの水性染料で色付けをした。顔についた染料に気づかず、真剣に製作する子どもに、会場は笑い声に包まれていた。仕上げに講師が凧紐を取り付けると、完成した凧を手に、「早く揚げてみたい」と子どもたちは笑顔を見せていた。（11月23日）

あなたの声をまちづくりに

「en（えん）とーく」のひとコマを紹介

市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、市長がまちづくりの考え方を説明する「enとーく」。11月22日に室蘭子ども劇場、12月4日に室蘭市老人クラブ連合会の皆さんとお話しました。

藤田さん

老人クラブに対する市などの補助金の申請手続きが複雑で、クラブ役員は会計の事務ができなければ務まらない状況です。

このことが、役員の担い手不足にもつながっています。幅広く役員を引き受けられるように、補助金申請などの提出書類をもう少し簡素化してほしい。

老人クラブ運営のため、市提出書類の簡素化を

補助金については、税金から支出しているため適正な会計事務をお願いします。その一方で、補助金の申請手続きが複雑で苦労されていることも理解していますので、どのようにすれば申請手続きが苦労しないで行えるのかを、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、室蘭市の三者で相談したいと考えています。

青山市長

佐藤さん

全国で公演している劇団員と話すと、「子どもの文化」という言葉が通じなくなってきたと聞くことがあります。小さい頃から舞台鑑賞し、感受性や想像力を育てることで「子どもの文化」が作られます。市の「文化とまちづくり」や「子どもの文化」についての考えをお聞かせください。

「子どもの文化」についての考えは

本市は、他のまちにはない文化に触れることができます。例えば、港の文学館で開催している小学生に小説を書いてもらう教室なども「子どもの文化」にとってすばらしいことです。また、水族館や科学館などは、子どもの夢を育てるための財産と考えています。

本市は、子どもの文化を作ることができるマチと、誇りに思っています。

市長と「enとーく」しませんか？　《申込先・詳細》広報課 ☎25-2193